

釜石市国際外語大学 成績評価の方法と基準

【科目別評価点の算出方法】

科目別評価点の算出においては、各科目の特性に応じてあらかじめ設定した評価項目（以下の7項目より選定）と評価割合を用いて求めることとする。

【科目別評価点と評価の対応表】

科目別評価点	科目別評価
3.6~4	秀
2.6~3.5	優
1.6~2.5	良
1~1.5	可

【評価項目】

	秀（4）	優（3）	良（2）	可（1）	不可（0）
1 定期試験得点率	90~100%	80~89%	70~79%	60~69%	60%未満 →追試※
2 小テスト平均得点率	90~100%	80~89%	70~79%	60~69%	60%未満
3 出席率	100%	95~99%	86~94%	80~85%	80%未満

※追試で得点率が60%以上であれば、何点であっても「可（1）」とする

※追試で得点率が60%未満の場合、原則は「不可（0）」評価とする（但し、課題提出等で対応する場合がある）

4 検定試験（当該授業における目標試験について適用し、任意で受験した上位試験の可否については試験の難易度に応じて都度判断する）

	秀（4）	優（3）	良（2）	可（1）	不可（0）
検定試験結果（A）	合格の上位2割	合格の中間5割	合格の下部3割	不合格	正当な理由なく未受験
検定試験結果（B）	合格の上位1割	合格	不合格の上位4割	不合格の下部6割	正当な理由なく未受験
検定試験結果（C1）	得点率7割程度以上	得点率6割程度	得点率4~5割程度	得点率3割程度以下	正当な理由なく未受験
検定試験結果（C2）	得点率8割程度以上	得点率7割程度	得点率5~6割程度	得点率4割程度以下	正当な理由なく未受験

5 課題の内容評価（原則、提出期限内に提出されたもののみを評価の対象とする）

	秀（4）	優（3）	良（2）	可（1）	不可（0）
レポート	「優」の評価に加え、客観的事実やデータに基づいた考察がなされており、説得力がある内容になっている。	「良」の評価に加え、構成がしっかりしている。または、最後に引用・参考文献を挙げたり、引用部分を「」で括弧などの適切な対応がなされている。	テーマに即した内容であり、指定された分量の8割以上を満たしている。	ある程度テーマに沿った内容にはなっているが、一部逸脱した部分が見られる。または、指定された分量の8割を満たしていない。	テーマから逸脱している。または、指定された分量を明らかに満たしていない。
提出物	「優」の評価に加え、想定するターゲットや、さらに広い層から高い評価・支持を得ることが予想される内容になっている。	「良」の評価に加え、より高い成果を生みだそうとする努力や工夫が見られる。	与えられたテーマ・課題の目的を理解して取り組んでおり、再現性が期待できる。	与えられたテーマ・課題の目的に沿った内容になっておらず、提出すること自体を目的としている。	指定された期日までに提出されていない。

6 受講態度

	秀（4）	優（3）	良（2）	可（1）	不可（0）
講義型授業	「優」評価に加え、講師の説明に関連して的確な質問をするなど、授業の精度を高めることに貢献している。	「良」評価に加え、講師の説明を聞きながら聞くなど、積極的に授業に臨んでいる様子が見られる。	講師の話聞き、板書するなどして授業内容の理解に努めている様子が見られる。	板書もせず授業に集中していない様子が見られる。（他者に迷惑をかける行為とはいえない）	居眠りや私語など、他者に迷惑をかける不適切な行為が見られる。
演習型授業	「優」の評価に加え、分からなくて困っているクラスメイトに教えてあげる等、他者貢献の姿勢が見られる。	「良」の評価に加え、授業で習った以外の方法・解法も試す等、向上心の高さがうかがえる。	自身の演習課題に真摯に取り組む、スキル向上に努めている様子が見られる。	他者に迷惑を掛ける行為はないが、自身の演習課題に取り組まないことがある。	居眠りや私語など、他者に迷惑をかける不適切な行為が見られる。
実習型授業	「優」の評価に加え、目的に即した判断により、的確なリーダーシップを発揮している。	「良」の評価に加え、他のメンバーの動向にも配慮し、積極的にコミュニケーションを図っている。	目的達成に向けてグループで協力して取り組む姿勢があり、積極的に自分の役割を果たそうとしている。	目的達成に向けてグループで協力して取り組む姿勢はあるが、指示されたことしかやろうとしない。	目的達成に向けてグループで協力して取り組もうとする姿勢があまり見られない。

7 発表会

	秀（4）	優（3）	良（2）	可（1）	不可（0）
プレゼンテーション	「優」の評価に加え、考察がしっかりとされており、発表内容に説得力がある。	「良」の評価に加え、表情が豊かで視線も聴衆に向けられており、聴衆を引き付ける工夫がなされている。	発表は、指定時間の7割以上を使い、かつ時間内に収まっており、声量も十分である。また、スライド等には適切な分量の情報が見やすく記載されている。	以下のいずれかに該当している。 ・発表が、指定時間の7割に達していない。 ・声量が不十分。 ・スライド等の情報量が不十分、またはフォントやデザインが不適切で見づらい。	プレゼン未実施、または以下のすべてに該当している。 ・発表が、指定時間の7割に達していない。 ・声量が不十分。 ・スライド等の情報量が不十分、またはフォントやデザインが不適切で見づらい。

以上の成績評価の方法と基準は、専門士称号付与の対象学科に属する学生に適用されるものとする。